

第 3 号議案 平成 29 年度事業計画(案)および収支予算(案)の承認の件

平成 29 年度事業計画(案)概要

1. 総論

平成 29 年度の新入生より校友会会費が分納制(8 期均等で 3,750 円/期で納付する)となったため、今年度は大幅な収入減のはじまりの年となった。今年度分の事業費は、4 年前の入学者が納入してくれた同会費で運用するため、今年度は直接の影響はないが、4 年後には運営安定引当金を取り崩して補填しなければ校友会の運営が成り立たなくなる。また、日本の 18 歳人口が 20 年ごろから減り始め、多数の私立大学が閉学等の激変期を迎える 18 年問題の年でもあり、持続可能な組織固めが切迫している現状である。

このような状況の下、各部門の合計予算については平成 26 年度予算に対し、4 年間で 20% 削減する目標を念頭に平成 29 年度予算の策定を行った。その結果、平成 26 年度予算に対して事業費の総額で約 11.1%減であり、4 年目となる平成 30 年度にはさらに厳しい予算編成が求められるため、事業の見直し、会則や規程の見直しなどが急務となる。

2. 各部門の事業計画(案)について

1)総務部(予算額: 8,491,000 円)

平成 29 年度の総務部予算は、平成 28 年度予算額 9,100,000 円に対して 8,491,000 円である。予算比較で 609,000 円が減額となっているが、増減の主な理由を述べる。

- ① 印刷費:これまで運営事業部で予算計上していた通常代議員会資料、支部長懇談会資料、新入生用金券印刷費の 216,000 円が総務部に移管されたことで増額。
- ② 人件費:校友会事務局の業務増大に伴い、事務員(アルバイト)を 2 名から 3 名体制とするため、平成 28 年度予算額 1,730,000 円に対して 2,710,000 円としたことで増額。
- ③ 記念品費:これまで運営事業部と広報事業部とで予算計上していた校友会グッズ(ボールペン)制作費の 600,000 円が総務部に移管されたことで増額。
- ④ 慶弔費、会議費および渉外費を見直して減額

予算を減じた科目は、慶弔費、会議費および渉外費である。慶弔費はこれまで渉外費の項目として処理していたが、両者の支出を明確化するため分離した。そして平成 28 年度決算にしたがって平成 28 年度予算額 1,070,000 円に対して 220,000 円減の 850,000 円とした。会議費(総務部会、学内ミーティング、懇談会)は、平成 28 年度予算額 2,020,000 円に対して 695,000 円減の 1,325,000 円とした。渉外費は、平成 28 年度予算額 700,000 円に対して 400,000 円減の 300,000 円とした。なお会議費、渉外費だけでなく旅費交通費についても執行内容を精査し、更なる予算削減について具体的な検討を進めることとする。また、校友会は平成 27 年 11 月に校友会設立 45 周年記念式典・記念祝賀会を開催し、平成 32 年には校友会設立 50 周年を迎える。よって、平成 29 年度から「校友会 50 周年実行委員会(仮

称)」を設置し、校友会設立 50 周年の記念事業について検討を進めることにしている。

2) 運営事業部 (予算額: 22,865,600 円)

平成 29 年度予算額は、平成 28 年度予算額の 21,450,000 円に対して 22,865,600 円とし、平成 28 年度予算より 1,415,600 円増額計上した。(+6.6%)

平成 26 年度の予算額から厳しい予算計上をしている為、削る余地が無くなっているのが現状である。

会議費は 2,000,000 円を計上し、200,000 円増額となったのは代議員会構成員が増加した為である。

代議員会の旅費交通費は実績のまま、遠方交通費については見直しが必要となる。

助成金関係では、平成 28 年度実績を踏まえ、学生団体助成金 140,000 円、正会員・準会員の参加助成 100,000 円をそれぞれ増額した。

支部会員の連絡費については、6 月 1 日よりはがき料金の改定に伴い 1,305,600 円を増額した。

また、本部・他支部長の参加助成金を 250,000 円増額して 950,000 円を設定した。

平成 30 年度からは、廃止の方向で考えたい。

平成 29 年度計上の印刷費 60,000 円、記念品グッズ製作費 300,000 円が総務部へ移管された。反面、総務部計上の大学祭参加費 100,000 円が運営事業部へ移管された。

なお、運営事業部では平成 26 年度予算ベースに 4 年間で 20%削減をスローガンに予算削減に取り組んだ際に、平成 29 年度予算では、記念品費(新入生金券)1,600,000 円と印刷費(新入生金券の印刷)150,000 円を削減したが、幹事会での復活折衝の際、復活折衝予算として計上している。平成 30 年度予算計上の折には再度検討が必要であろうと考える。

今後まだまだ改良の点を見つけないが、事業を中止するか否かのラインまで来ているのが現状である。

支部の活性化や学生への助成、どれも必要であるので慎重に検討したい。

3) 広報事業部 (予算額: 10,490,000 円)

平成 29 年度の広報事業部予算は、平成 28 年度予算 13,130,000 円に対し、△2,640,000 円の 10,490,000 円とした。(△20.1%)

今年度の予算編成の考え方として、会報費を大幅に削減した。(凡友発行部数を昨年度 68,000 部から 66,000 部にし、返却部数を加味し頁数も 36 頁から 32 頁に減らす予定である。)平成 29 年度は広報事業部の広報費(記念品)300,000 円を総務部へ移管した。

その他、昨年度の実績を踏まえて予算を計上した。